高速道路でのバス事故対応訓練の概要

公益社団法人 石川県バス協会

交通事故防止について、日々、会員各社は指導・講習に取組んでいます。

今般、安全・安心を第一に運行しております会員バス会社は、高速道路において追突事故など万が一のバス事故に際し、人命救助を第一に迅速・冷静に対応するために訓練を実施しました。

石川県警察本部をはじめ関係機関の協力を得まして、会員バス会社の運行管理者・運転者等総勢約 80 名が下記のとおり参加実施しました。

今後とも、交通事故防止の継続・実践に取組んで参ります。

記

１．日　　時：令和 7 年 11 月 12 日(金)　10 時 00 分 ～ 11 時 30 分

２．訓練場所：北陸自動車道小松 IC 料金所横

３．訓練概要(写真は別紙)

(1) 訓練開始あいさつ及び概要説明

(2) 発炎灯の着火訓練(運転者 5 名参加)

(3) バス事故現場対応訓練

① 運転者の行動訓練

・ 乗客避難誘導(ガードレール外へ退避)

・ 要救助者の救護

・(発煙灯着火・三角板掲示)

・ 警察等関係機関連絡・会社連絡

② 警察等の事故対処訓練

(4) 終了総評

４．運転者等の訓練感想

・(運転者)

・万が一の事故に備えて、迅速・冷静に対応するために、この訓練の経験は大変有意義だった。

・(管理者)

・このような訓練を継続していただき、すべての運転者に訓練体験をさせて、更に事故防止に繋げていきたい。

以上

石川県高速道路事故対応訓練　R7.11.12　@小松氷雪基地（小松 IC）

①会長あいさつ

②訓練参加者

③発煙灯の着火訓練

③-2

④-2 高速道路のガードレール外への避難

④-1 乗客避難訓練

④-3

⑤警察等事故対処

⑥交通事故想定（トラックがバスに追突）